

第2回串間市農業委員会定例総会

日 時 平成29年7月31日(月) 開始 14:30 終了 15:46

会 場 串間市役所3階大会議室

出席農業委員

13名

1番(会長)	川崎 善昭	8番	武田 昭一	13番	黒木 一則
2番(会長代理)	井手 重則	9番	谷口 利則	14番	寺迫 邦廣
3番	内田 政秀	10番	菊永 宏親	15番	原田 俊一
6番	奥村千扶子	11番	島田さつき		
7番	武田 建次	12番	山崎 昭二		

欠席農業委員

2名

5番 瀬治山 満弘 16番 廣見 安彦

出席推進委員

14名

【福島地区】鈴木 信	川野 昭広	西 正和	牧野 宣英
【大東地区】野邊 敏郎	堀口 宗幸	森 幸壽	清本 良夫
【本城地区】中津留 厚	森本 好昭	蓑輪 正弘	
【都井地区】上村 眞司	【市木地区】橋口 勝彦	門内 武	

欠席推進委員

1名

【福島地区】黒木 松吾

議事録署名委員 3番 内田 政秀 9番 谷口 利則

議事日程

第1	報 告	各専門部会長及び副部会長の互選について
第2	議案第7号	農地法第3条の規定による許可申請について
第3	議案第8号	農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
第4	議案第9号	農用地利用集積計画の承認について(所有権移転)
第5	議案第10号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定)

出席事務局	5名	事務局長 吉国 保信	次長 河野 あずさ	
		調整係長 酒井 尋	主任技師 古屋 雅史	主事 川畑 裕

議長（会長）	<p>ただいまから、第2回農業委員会定例総会を開催いたします。本日は5番委員と16番委員、黒木松吾推進委員から欠席届が提出されていますので、本日の出席委員は農業委員13名、農地利用最適化推進委員14名でございます。</p> <p>農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の農業委員の出席がありますので、総会は成立していることを報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>議事録署名委員の指名</p> <p>本総会での議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>議事録署名委員は、3番 内田政秀 委員、9番 谷口利則 委員にお願いします。</p>
議長（会長）	<p>ただちに議案審議に入ります。</p>
議長（会長）	<p>報告：各専門部会長及び副部会長の互選について</p> <p>まず、お手元に配布しました、7月20日開催の第1回串間市農業委員会総会、議案第6号、各専門部会の副部会長の互選結果を報告します。</p> <p>各専門部会の副部会長については、部会に所属する農地利用最適化推進委員で互選した副部会長をあらかじめ承認し、本日の総会で報告をすることとしていましたので、配布資料のとおり報告します。よろしくお願いします。</p>
議長（会長）	<p>議案第7号：農地法第3条の規定による許可申請について</p> <p>次に議案第7号、農地法第3条の規定による許可申請について、受付番号1番から2番の2件を議題といたしまして、審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第7号、農地法第3条の規定による許可申請は、受付番号1番と2番の所有権移転に関する2件であり</p>

事務局

ます。

事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第3条第2項各号の不許可の事由につきましては、

「第1号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第3号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第4号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第5号」 権利取得を含めた経営農地が50アールに達しない場合

「第6号」 今回の申請農地を転貸しようとする場合

「第7号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合

であります。

今回の許可申請受付番号1番と2番の2件は、農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

まず、受付番号1番の1件について、本日は担当である5番委員が欠席されていますので、福島地区会長であります3番委員より説明をお願いします。

3番

議案第7号、農地法第3条の規定による許可申請について、受付番号1番の所有権移転に関する1件について説明いたします。

受付番号1番については、渡人は高齢のため耕作できないことから売買するものです。申請地は以前から受人が耕作している農地であり、水田には飼料用稲、畑にはソルガムが栽培されていますが、今後も同作物を作付けしていくため、周辺農地への影響はないと考えます。また、後継者は県内で畜産業の研修中であり、受人の現在の農業経営は、母牛26頭を飼養されていますが、将来は後継者ととともに規模拡大をするために、

3 番

今回の申請地を買受するものです。農業従事日数は本人及び妻ともに250日以上あり、農業機械保有・労働力・技術面から見て問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。また、地域農地の利用調整に協力するため、農薬使用は地域の防除基準に従うとともに、鳥獣被害等の被害防止活動にも積極的に参加されるとのことでありますので、問題ないと考えます。

以上、受付番号1番の1件について調査しましたが、農地法第3条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

次に受付番号2番の1件について、8番委員より説明をお願いします。

8 番

議案第7号、農地法第3条の規定による許可申請について、私の担当区域につきましては、受付番号2番の所有権移転に関する1件でございます。

受付番号2番については、渡人が遠方に居住されており管理ができないため、申請地周辺に居住されている受人へ売買を行うものがあります。申請地周辺は宅地が多いため、これまでどおり受人が農薬を使用せず、野菜類を作付けしていくとのことでありますので、周囲農地への影響もありません。受人世帯の農業従事日数は本人・妻ともに250日以上あり、機械保有・労働力・技術面において問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えるため問題ありません。

以上、受付番号2番の所有権移転に関する1件について調査をしましたが、農地法第3条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

これより議案第7号、受付番号1番から2番の2件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

（ なしの声 ）

議長（会長）

それではお諮りいたします。議案第7号、受付番号1番から2番の2件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

議長（会長）	異議なしということですので、議案第 7 号、受付番号 1 番から 2 番の 2 件は許可することに決定します。
議長（会長）	<p>議案第 8 号：農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について</p> <p>次に議案第 8 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を議題といたしまして審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 8 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は、受付番号 1 番と 3 番から 6 番の所有権移転に関する 5 件と、受付番号 2 番の使用貸借権の設定に関する 1 件の合計 6 件であります。</p> <p>農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、</p> <p>「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合</p> <p>「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合</p> <p>「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合</p> <p>「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合</p> <p>「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。</p> <p>受付番号 1 番の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号に規定されている「商業地域」に該当することから「第 3 種農地」に区分されますので、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロには該当していません。</p> <p>次に、受付番号 2 番の申請地農地区分は、「農用地区域内にある農地」であることから、不許可の事由に該当することになりますが、平成 29 年 2 月 6 日付で農業用施設用地へ用途変更されているため、農地法第 5 条第 2 項ただし書にあります「農業振興地域の整備に関する法律第 8 条第 4 項に規定する農用地利用計画において指定された用途に供する場合」に当たることから、不許可の例外に該当しています。</p>

事務局

次に受付番号3番から6番の4件の申請地農地区分につきましては、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため「第2種農地」に区分されることから、農地法第5条第2項1号ロには該当していません。

したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番から6番の6件につきましては、許可要件をすべて満たしていると思われまます。皆様のご審議をお願いいたします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

まず、受付番号1番から2番の2件について、3番委員より説明をお願いします。

3番

議案第8号、農地法第5条第1項の規定による許可申請について、私の担当は受付番号1番の所有権移転に関する1件でございます。

受付番号1番につきましては、申請地は狭小で三角形の地形であること、周辺は飲食街であるため農地がないことから、申請地のみの耕作及び転用することは不可能ですが、申請地は受人が経営する店舗に近いことから、隣接する宅地も買受け、従業員用駐車場敷地として利用する申請です。この隣接する宅地には荒廃した空き家があるため、原野化している申請地と併せて、建物の取り壊しや雑木の伐採を行い整備されるとのことです。申請地の周囲は、市道・宅地・JR線路であり、特にJR線路との境界にはブロック積みを行うため、土砂流出・崩壊などの災害を発生させる恐れは考えられません。また、排水は市道脇の水路に流す予定でありますので問題ありません。

以上、受付番号1番については、農地法第5条の許可要件を満たしているため問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

次に、受付番号2番の使用貸借権の設定に関する1件について説明します。今回の申請は3,002㎡の面積うち1,500㎡を牛舎及び堆肥舎敷地として利用する申請です。残り1,502㎡は飼料稲の作付けを行うため、議案第10号、農業経営基盤強化促進法・利用権設定分の受付番号1番を申請されています。受人は農業大学卒業後、現在は母牛7頭を飼養されていますが、将来は母牛22頭に規模拡大を図るため、今回、祖父より申請地を使用貸借し、牛舎及び堆肥舎を建築するものであります。また、申請地を選定した理由については、経営する牛舎と隣接していることから、作業効率化が図られるため選定されています。申請地の隣接には南西側に農地があるため、10mの距離を置き牛舎建築を行うことから、日照問題などはないと考えます。また、申請地の北側が農道、東側は申請者本人が経営する牛舎であります。西側に農地等があるため、土砂流出しないよう転圧を十分に行うとともに畦畔を設置するため、周辺への影響はないと考えます。雨水は隣接する既存の側溝に排出させ、家畜の糞尿については、おが屑を敷き堆肥舎への搬出を行い、発酵後は堆肥とし

3 番	<p>て利用するため、周辺農地や作物への影響はなく問題ありません。</p> <p>以上、受付番号 2 番の 1 件については、すべてが農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>次に、受付番号 3 番の 1 件について 1 0 番委員より説明をお願いします。</p>
1 0 番	<p>議案第 8 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請について、私の担当は受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件でございます。</p> <p>今回の転用申請につきましては、譲受人は転用農地に隣接するところに住んでいますが、県外に住んでいる息子の退職に伴い帰省することになり、住宅が必要となったことから住宅用地を探していたところ、現在、家庭菜園として借受けている農地を譲渡人が相談を受け入れられ、今回申請を提出されています。譲渡人については、現在、他の地域に住んでいまして、非農家でもあることから、今後この土地の利用がないということで受け入れられた経緯がございます。転用申請につきましては、申請地に受人の隠居を年内に建築し、既存の住宅には帰省する息子が住む計画でございます。また、申請地は農振農用地区域外であります。周辺の農地に対する影響につきましては、西側及び北側は旧営林署の苗場及び貯木場の跡地でございます。現在放置されている状況でございます。ただ、南側に農地がございますが、申請地との差が 2 メートルから 3 メートルあるということで、営農に及ぼす影響はほとんど考えられない状況でございます。また、転用に伴います土砂流出・崩壊・その他災害を発生させる恐れにつきましては、境界にブロック積みを設置する計画がございます。排水等につきましては、市道への生活排水施設が整備されており、その施設に接続させるとのことです。以上、受付番号 3 番の転用に伴います所有権移転の 1 件は、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>次に、受付番号 4 番の 1 件について 1 3 番委員より説明をお願いします。</p>
1 3 番	<p>議案第 8 号、農地法第 5 条の規定による許可申請について、私の担当は受付番号 4 番の所有権移転に関する 1 件でございます。</p> <p>受付番号 4 番について、受人は申請地の隣接に飲食店を経営しており、団体客利用時などに従業員駐車場が不足するため申請するものであります。また、申請地は道路拡張時の残地であったことから、面積が狭小であり、隣接する田との差が 1 メートル以上高くなっていることから、耕作者もおらず駐車場敷地として申請されています。申請地の隣接は、北側が国道、東側は受人が経営する店舗、西側と南側が農地でありますので、雨</p>

1 3 番

水排水は自然浸透させるとともに、南東側の水路に排水させるため、土砂流出などの災害発生の恐れもあります。また、南側の農地の境界部分には、国道と店舗の境界のブラインド効果や国道側からの走行車の防音対策として垣根を設けていますが、農地への日照不足に配慮し、垣根の高さを2メートルまでに維持するということでもありますので問題ないと考えます。

以上、受付番号4番の転用に伴います所有権移転の1件は、農地法第5条の許可要件を満たしているため問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

次に、受付番号5番の1件について14番委員より説明をお願いします。

1 4 番

議案第8号、農地法第5条の規定による許可申請について、私の担当は受付番号5番の所有権移転に関する1件でございます。

受付番号5番につきましては、申請地の周囲が山林及び原野となり、獣害の発生により耕作できないことから、10筆中5筆は昭和32年頃に、残り5筆は5年前に受人及び渡人の父が植林しております。今後については、県内居住の受人が月1回ほど串間市に帰省されていますので、年1回から2回ほど下刈り・枝打ちを行い、管理をしていくということでございます。さきほども申し上げたとおり、周辺地域は山林・原野でありますので、雨水は自然排水で対応可能であることから、土砂流出・崩壊などの災害を発生させる恐れは考えられません。

以上、受付番号5番の転用に伴います所有権移転の1件は、農地法第5条の許可要件を満たしているため問題ございません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

次に、受付番号6番の1件について、本日は担当である16番委員が欠席されていますので、市木地区会長であります15番委員より説明をお願いします。

1 5 番

議案第8号、農地法第5条の規定による許可申請についてであります。受付番号6番の所有権移転に関する1件について説明します。

受付番号6番については、申請地の周辺はスギ山であり、日照不足と申請地は狭小な農地であるため、耕作するのに不便であったことから、譲渡人の父が平成14年に植林をしたということでございます。今後は申請地周辺で山林を保有する譲受人へ売買し、譲受人は所有する隣接山林と一緒に定期的の下刈り等を行い、管理していくとのことです。申請地の周辺につきましては、河川・農道・山林であるため農地はなく、雨水については、これまでどおり自然浸透及び隣接する川に排出させているため、土砂流出・崩壊などの災害を発生させる恐れも考えられません。

以上、受付番号6番の所有権移転の1件について調査いたしました。農地法第5条の許可要件を満たして

1 5 番	<p>いるため問題ございません。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第 8 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。議案第 8 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということですので、議案第 8 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件は許可相当とし、受付番号 5 番の 1 件は宮崎県常設審議委員会へ意見聴取を求め、受付番号 1 番から 6 番の 5 件は意見を付して県へ進達いたします。</p>
議長（会長）	<p>農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案</p> <p>次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認についてであります。審議に入ります前に、あらかじめ市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。</p>
事務局	<p>平成 2 9 年 7 月分につきましては、串間市長より平成 2 9 年 7 月 2 0 日付、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 1 項の規定による農用地利用集積計画の承認が求められております。</p> <p>内容につきましては、議案第 9 号・所有権移転が 1 件・面積が 1, 4 7 3 m²、議案第 1 0 号・利用権設定が 1 件・面積が 1, 5 0 2 m²でございます。</p>
議長（会長）	<p>それでは、ただいまから市からの提案について審議に入ります。</p>

議案第 9 号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転分

議長（会長）

議案第 9 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして審議を行います。

まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 9 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は受付番号 1 番の 1 件を説明いたします。

「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項、第 1 号）今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること

第 2 号イ）耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること

第 2 号ロ）耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること

であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番の 1 件は、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われまます。皆さんのご審議をお願いいたします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

それでは、受付番号 1 番の 1 件について 8 番委員より説明をお願いします。

8 番

議案第 9 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、私の担当であります受付番号 1 番の 1 件について報告いたします。

受付番号 1 番の 1 件について、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有があること、労働力は本人・妻・後継者の 3 名と 4 名の常時雇用がいるため十分な農業常時従事があること、技術面からみて問題なく効率的な農業経営を行えることなどの該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

議長（会長）	<p>これより議案第 9 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>それではお諮りいたします。議案第 9 号、受付番号 1 番の 1 件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということでありますので、議案第 9 号、受付番号 1 番の 1 件を承認して市へ通知します。</p>
議長（会長）	<p>議案第 10 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定分</p> <p>次に議案第 10 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 10 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定は受付番号 1 番の 1 件であります。</p> <p>事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番の 1 件は先ほど議案第 9 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画の承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。皆さんのご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p> <p>それでは受付番号 1 番の 1 件について、3 番委員より説明をお願いします。</p>
3 番	<p>議案第 10 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、受付番号 1 番の 1 件について説明します。</p> <p>受付番号 1 番は、議案第 8 号、農地法第 5 条許可の受付番号 2 番に関連しますが、3, 002 m²の面積うち 1, 500 m²が牛舎及び堆肥舎敷地、残り 1, 502 m²は飼料を作付けするため、渡人である祖父より借受け</p>

3 番

る申請であります。今回の申請は、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件を、受付番号 1 番の 1 件はすべて満たしているため何も問題ありません。ご審議方お願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。

ただいまから議案第 10 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

（ なしの声 ）

議長（会長）

それではお諮りいたします。議案第 10 号、受付番号 1 番の 1 件を承認してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

議長（会長）

異議なしということですので、議案第 10 号、受付番号 1 番の 1 件を承認し市へ通知します。

議長（会長）

以上で議案審議は全部終了しました。

慎重・審議、誠にありがとうございました。

議長（会長）

以上を持ちまして、第 2 回農業委員会定例総会のすべてを終了いたします。

次の総会は、8 月 31 日（木曜日）に開催いたします。よろしくお願いします。

平成 2 9 年 7 月 3 1 日

1 番 (会長)

議事録署名委員

3 番

9 番